

# アンテナバラン 組立部品セット KIT-DB-450H-V3

50Ω 不平衡 : 450Ω 平衡 1.5MHz~30MHz

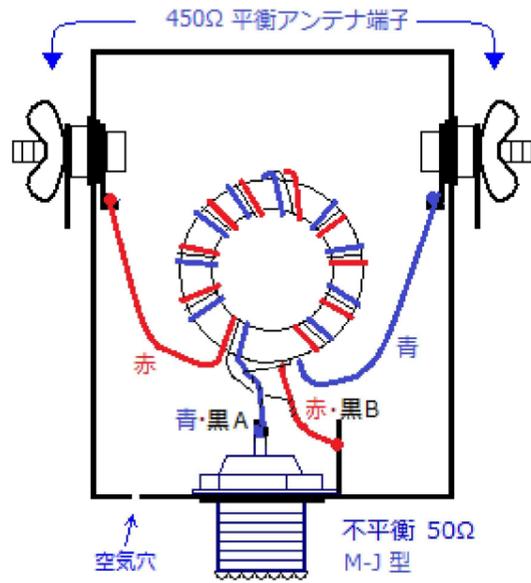
許容入力電力 : 連続 100W (CW 200W, SSB 300W)

サイズ50W×75H×30Dmm (突起物を除く) 重量 約 120g

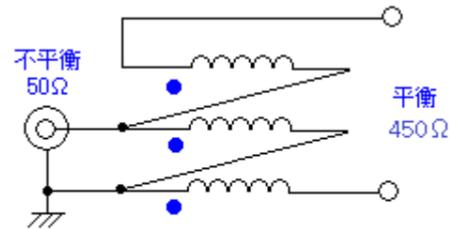
## |||||||||| 50Ω:450Ω バランの作り方 |||

- ①コアの巻き方の通り、0.51mmETFE電線40cmを、コアに10回巻きます
- ②さらに赤色より線、青色より線をコアの巻き方の通り巻線し端末配線の通り結線配線します
- ③プラボックスにボルトナット、M-BR (M型座) を取り付けます
- ④巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- ⑤接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

### 構成図



### 回路図



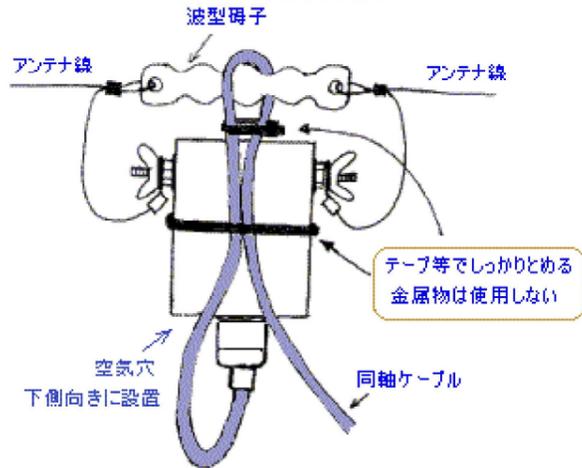
巻き数比=1:3

インピーダンス比=1:9 = 50Ω:450Ω

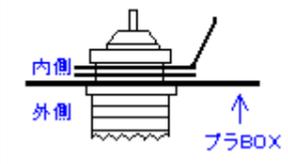
### 部品表

フェライトコアE04RJ311910-1
0.51mmETFE線43cm- 黒1
0.51mmETFEより線43cm- 赤1、青1
M型接栓座 M-BR-1
ステンボルトナットワッシャー
蝶ナット、ラグ端子-2組
プラボックス-1
波型端子-1
結束バンド-2

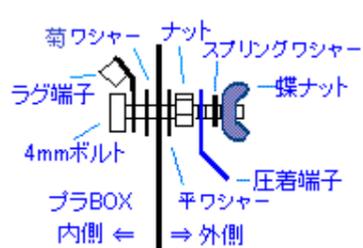
### バラン取付方法



### 同軸接栓座MBRの取付方

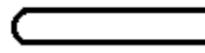


### アンテナ端子取付方法



## コアの巻き方

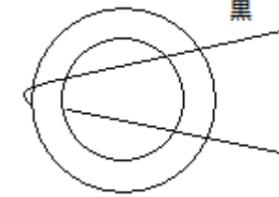
1. 黒色線を 半分ほどで折り返します



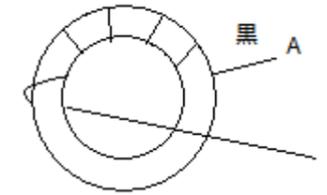
0.51mmETFE電線43cm- 黒1  
0.51mmETFE電線43cmより線- 赤1、青1



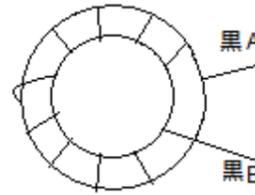
2. 43cm黒色ETFE電線を コアに約半分の長さで通します



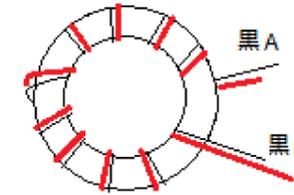
3. 半分の黒色ETFE電線を5回巻きます (コア内通過数)



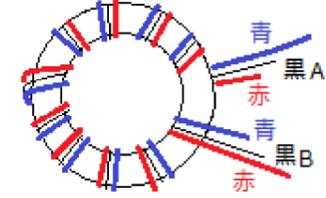
4. もう片側半分の黒色 ETFE電線を図のように 同様に5回巻きます (コア内通過数) 合計10回巻きます



5. 黒色線の黒Aから赤色より線を3cmほど残して 10回横に並べて巻きます (コア内通過数)

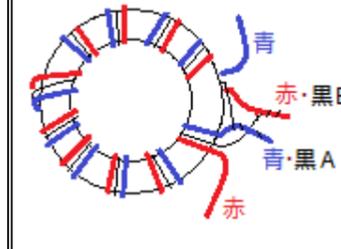
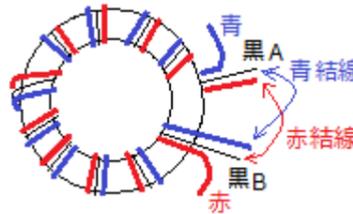


6. 青色より線を3cmほど残して黒Bから10回横に並べて巻きます (コア内通過数)

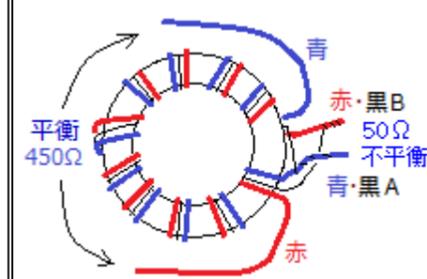


### 7. 端末配線

端末線は、下図のように赤色より線と黒Bを、また、青色より線と黒Aを 結線配線 接続します



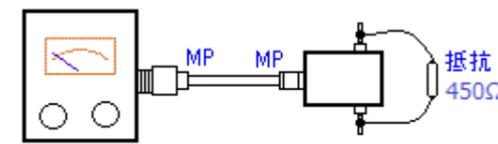
### 8. コアの完成



### コア完成例



### SWR測定方法



アンテナ SWR計  
アナライザー など  
抵抗は短く接続します  
(コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)

株式会社 **大進無線**  
〒410-0022 沼津市大岡 2223-14  
TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <http://www.ddd-daishin.co.jp/>  
E-mail [info@ddd-daishin.co.jp](mailto:info@ddd-daishin.co.jp)